

**オンライン資格確認
マイナンバー保険証にかかわる
アンケート調査
医療・介護現場からの声**

石川県民主医療機関連合会
2023年8月8日(火)

【調査概要】

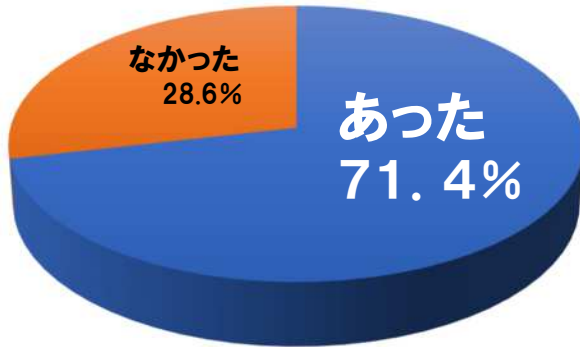
石川民医連に加盟する9病院/診療所・1歯科診療所・
7薬局・6介護施設にアンケートを行った

対象事業所:23事業所

期間:7月20日~7月31日

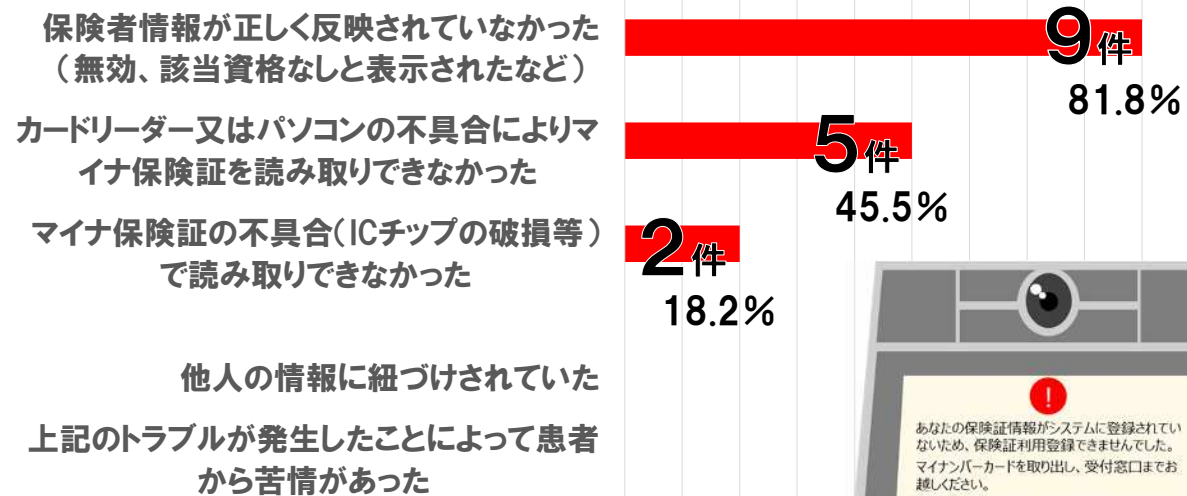
オンライン資格確認の実施とトラブルの有無

オンライン資格確認システムでこれまで
トラブルがあったか？



オンライン資格確認システムを稼働している14事業所のうち、実に7割以上(10事業所)でトラブルが起きています。しかも、1度や2度ではない。

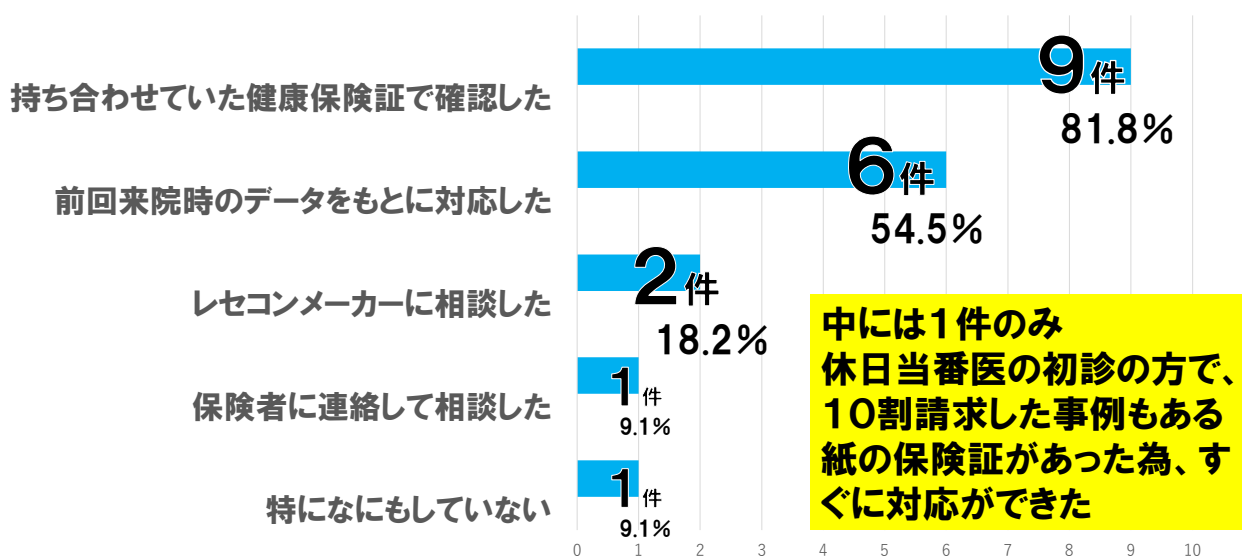
どのようなトラブルだったか(複数回答可)



具体的にどのようなトラブルだったか

- ・顔認証はなかなか上手くいかない
- ・小児科で小児本人の顔確認が出来なかった
生後間もなく作成されているため顔が変わるのは当たり前である
- ・登録されていない漢字や記号が「●」で表示される
- ・マイナ保険証の期限切れが5、6回ある
- ・該当資格なしは月に1～2件ある
- ・薬剤情報が見れない人がいる
- ・保険証が変わったのに、オンライン資格確認のデータが更新されていなかった

トラブル発生時にどのように対応したか(複数回答可)



オンライン資格確認「義務化」や、健康保険証の廃止についての医療介護現場の声

- ・マイナカードはトラブルが多く、安心出来ない
最近では、マイナ保険証で確認する患者が減っている
- ・パスワード認証は、小児の場合は保護者が管理しているため、本人が認証したとはいいがたい
- ・マイナンバーでの資格確認は本人に機器操作していただく必要があるが、お年寄りや車いすの方は機器操作が困難
- ・患者様よりマイナ保険証の機械の通し方や使い方を教えて欲しいと言われる場面多く、業務に支障となっている

オンライン資格確認「義務化」や、健康保険証の廃止についての医療介護現場の声

- ・システムが完全ではないため、マイナカードで受付→カルテにマイナ受付とメモ貼り付け→手入力しているため手間がかかる
- ・現在受付する機械も1台しかないため、混雑時など、スムーズに受付できなくなるかもしれない
- ・**公費証**は登録されていないので、結局オンラインで確認しても紙の証書も確認しなければいけない

オンライン資格確認「義務化」や、健康保険証の廃止についての医療介護現場の声

- ・在宅診療や今後予定しているオンライン診療の方の資格確認をどうするかなども課題
- ・マイナ保険証は高齢者だと自分で手続き出来る人が少なく、特に身寄りのない方は難しい。
- ・保険証が廃止になると、今以上に受診できない人が増えると思う

マイナ保険証導入および健康保険証廃止の問題点・弊害

- 1.根本的な制度設計上の不備・機器やシステムの未熟さは否めない
(そもそも医療保険制度の仕組みと相容れない。自治体独自の制度などが考慮されない。)
- 2.医療機関窓口の負荷増大で円滑な診療に支障
(確認に時間かかりすぎる、高齢者や障害のある人のサポート業務の増大等、利用人数の少ない今でさえこの状況。)
- 3.ワークイン受診以外の健康保険証利用場面度外視
(訪問診療や訪看、介護施設入居者の受診時、コロナ陽性者受診時などで自家用車内で待機してもらう場合の認証は何ら示されていない。)

現行の健康保険証廃止はやめるべき

マイナ保険証導入および健康保険証廃止の問題点・弊害

4.国民皆保険制度による医療を受ける権利の侵害
 (適切な保険情報の確認が困難であり、自力で申請、更新できない人々を置き去りにし、無保険者を生み出すことにつながる。)

5.「資格確認書」の発行は本末転倒
 (保険者と医療機関の業務を増やし、さらに無駄な税金を投入することである。)

現行の健康保険証廃止はやめるべき

医療、介護現場から 県民のみなさまに伝えたいこと

現行の健康保険証を存続させるために
声を上げて欲しい

- ・「現行の健康保険証を残してください国会請願署名へのご協力
- ・マイナ保険証をお持ちでも、紙の健康保険証を持って受診して欲しい
(廃棄しないこと)

来年秋に
廃止します

今の健康保険証
でいいよね!

えん

健康保険証がマイナンバーカードに結びつけられ、任意であるはずのカードの取得が強制に、あんまりじゃないか!
健康保険証の廃止を中止、撤回させましょう!

健康保険証なくさないで!!

トラブル続き

無保険者を作り出す

マイナ保険証の導入率
72%

保険証の廃止は、私たちのいのちと健康にかかわる問題 署名にご協力ください